

売出期間(6月2日~7月15日)今ならお盆までの建墓も可能です!!お買い得商品を豊富にご用意いたしました。



表示価格は、刻字・工事代金を含む完成引渡価格(税込)です。

上半期最後の大特価セール!人気商品が超お買得!!

茨城県内各組合員の皆様へ 組合員割引特典がございます。お気軽にお問合せ下さい。

co-op

いばらきコープ

ごみん共済

パルシステム茨城 栃木

茨城県生活協同組合

茨城県交通安全協会

茨城県生活協同組合

コープみらい



6/2(日)~6/23(日) 3週間限定セール!人気商品が今年最安値!

6/2(日)~6/23(日) 人気No.1と新作商品が今年最安値!!

6/2(日)~6/23(日) 3週間限定セール!人気商品が今年最安値!



墓地情報センター® 水戸東・大洗街道
展示場

株式会社 ビージエイシー 茨城県水戸市酒門町2541 TEL.029-233-4244 (代)

お問い合わせは最寄の展示場まで

0120-422-242

029-233-4244

営業時間/AM9:00~PM6:00

定休日

水曜日・木曜日

祝日は営業

<http://www.eboseki.com>

墓地情報センター

検索



SDGsへの取り組み

墓地情報センターは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

各展示場のご案内 …下記の各展示場にて、皆様のご来店をお待ちしております。

水戸東展示場 ☎ 029-233-4244 小美玉・石岡展示場 ☎ 0299-47-1424 矢板展示場 ☎ 0287-43-4244

水戸西展示場 ☎ 029-229-7855 北茨城展示場 ☎ 0293-46-4244 野木・古河展示場 ☎ 0280-57-4040

土浦・猿島展示場 ☎ 029-843-4242 日立展示場 ☎ 0294-87-8844 会津若松展示場 ☎ 0242-25-4242

東金展示場 ☎ 0475-53-4422

(注)記載の商品代金の内、計上する工事代金は施工条件の良い場所が基本となっております。(注)掲載の商品は店舗により大きさや使用石材が異なる場合があります。詳しくは係員にお尋ねください。

ご注意下さい!掲載商品は全てオリジナルデザインです。(注)掲載するデザイン墓石の転載、転用は固く禁止いたします。また、偽似品の販売は意匠権の侵害や不正競争行為に該当する場合がありますので注意ください。



一般的なお墓にするか、「樹木葬」や「納骨堂」にするかで迷っています…。

最近は「樹木葬」「納骨堂」「永代供養墓」「散骨」など、新しい供養のスタイルがマスコミで取り上げられ、話題となっています。これらは、「一般的なお墓」と比べて費用が安い、「お墓の後継者を必要としない」など時代のニーズに適したものと言えるでしょう。しかし、これらの新しい供養のスタイルはそうしたメリットばかりではありません。なかには、「樹木の墓標に手をあわせても、お参りした気になれない」「散骨したのはいいが、拌む対象がなくなってしまう寂しい」といった後悔の声も少なくないのです。

お墓は、「遺骨を埋葬する場所」であるだけでなく、残された家族が故人を偲び、先祖を祀るという「お祈りの場所」もあります。また、お墓があるからこそ、家族や親戚がお墓参りなどで集まることができます。つまり、残された人たちにとってお墓は、ご先祖様やご家族とのつながりを再確認できる、とても大切な場所なのです。やむを得ず新しい供養のスタイルを選ぶ場合もありますが、「流行だから」などの安易な気持ちで選ぶことは避けたいものです。数多くあるスタイルの中から、ご自分と家族とがよく話し合った上でベストな選択をしていく必要があるでしょう。

黒い石は縁起が悪いと聞いたのですが、本当ですか？

基本的には石の種類や色による吉凶はないとお考えください。現在、黒系統の石がたくさん出る東北地方では建立されている墓石の65%以上が黒御影石で、地域によっては99%が黒御影石となっています。いま、墓石の多くは海外から輸入されていますが、昔は国内で産出される石材は、黒系や白系の御影石がほとんどでした。従って、このように黒御影石が多く採れた東北地方では多くの墓石が黒系御影石であり、逆に白系御影石が採れた地方では白系御影石が多く建てられたのです。

もし、一部の墓相学者の言う通り、黒御影石が「凶」であるならば、東北地方の施主家の方々は不幸だということになってしまいます。また、仏教の基本色は赤青黄白黒の五色であり、この色の一つでも欠けて極楽浄土はできないと阿弥陀経にも記されており、黒御影石がいけないということはあり得ないと言つていいでしょう。

お墓で時々、お地蔵様を見かけますが…。

広い墓地を歩いていると、ところどころお墓にまじって、お地蔵様が建てられているのをご覧になったことがあると思います。お地蔵様は子供や幼児などの子供の靈を祀ったものです。お地蔵様は正式には「地蔵菩薩」という名称で、元々はインド生まれの菩薩です。サンスクリット語では、クシティ・ガルバといい、クシティは「大地」、ガルバは「胎内」、「子宫」の意味で、意訳して「地蔵」と呼びます。お地蔵様は臨機応変さざまなもの姿を変えて、人々を救済されています。特にその中でも弱い立場のもの、子供を見守り、無限の大慈悲の心で包み込む「子供の守り神」として古くより「お地蔵さん」として親しまれています。

お地蔵様を建てるのは、幼児靈、水子の靈をすこやかに成仏させてくれるのが地蔵菩薩とされているからなのです。なお、幼児靈とは病氣あるいは事故などで幼くしてこの世を去った子供の靈のこと、水子とは流産や死産、あるいは人工妊娠中絶などでこの世に生まれてくることができなかつた子供をさします。

お墓は、いつ建てればいいの？

意外に思われる方もいるかもしれません、お墓は「いつまでに建てなければいけない」という明確な決まりはありません。ただ、一般的には四十九日や一周忌、三回忌を自らお墓を建てる方が多く、それが理想的とも言われています。家族や親族が集まりやすい仏日に建立をし、法要、納骨(開眼供養)を同時に済ませれば、何度も足を運ぶ負担を減らすことができるからです。

しかし、ご遺族の中には心の整理がつかない方、経済的状況が整わない方、埋葬場所の制限がある方など、一般的な日程で建てられない方もいらっしゃいます。ご自身の都合で建立を遅らせるごとに心苦しさを感じる方もいるかもしれません。でもお墓を建てる時に一番大切なのは、形ではなく心です。ご家族の気持ちがまとまつた時に建てるのが、亡くなられた方への何よりも供養になるのではないかでしょうか。



お墓のアフターケア

お墓のアフターケアもあっております。お墓の清掃やクリーニング、お墓の引っ越しや墓じまい、お戒名の追加彫刻、納骨のお手伝い、お墓参りの代行まで、お墓のアフターケアもお気軽にご相談ください。

2 お墓の引越し(改葬)

墓じまい(お墓の解体・撤去)離れたところにあるお墓をお住まいの近くに移転するなどの、お墓の引越し(改葬)のお手伝いをいたします。また、古くなったお墓や、跡継ぎがないなどで管理出来なくなつたお墓を解体・撤去する墓じまいも承っております。

1 お墓の清掃・クリーニング

納骨式は、されないお墓で…。お手頃価格の清掃から、本格的なクリーニングまでお客様のご希望にお応えいたします。汚れの状況にあわせて「高圧洗浄水」や石材専用の「ケミカル洗浄剤」を使用することで、石材本来の美しさを取り戻します。

3 お戒名の追加彫刻等(刻字)

亡くなられた方の戒名や俗名、命日などを、墓誌や墓石等へ追加彫刻(刻字)いたします。熟練の職人が、彫刻用の機械を墓所まで運び現地で彫刻を行います。

その他、納骨のお手伝いや、お墓参りの代行などにも対応いたします。お気軽にお問い合わせください。

おまかせぐださい！安心のお墓づくり…。

私たちなぜお墓を建てるのでしょうか…

私たちはなぜお墓を建てるのでしょうか。私たちが亡くなったあとのことを想像してみましょう。残された子や孫たちは毎日元気に暮らしているか、心配事はないかと、いつまでも見守っていたいのが親というものです。そのため、子孫を見守りながら安心して眠る場所がお墓だと考えてはいかがでしょうか。一方で、残された人々にとってお墓とは、喜びや迷いを打ち明け、またなんでもない日常の幸せを手を合わせて報告する場所、つまり、亡くなつた人々と生きている人々とがつながり、会話をする場所、それがお墓なのです。いつもお墓参りをし、先祖に手を合わせる親の姿を見てきた子や孫たちは、自然と祖先を敬う気持ちが育まれます。お墓参りは儀礼ではなく、代々続く「家族」というものの結びつきの大切さを学ぶことであり、また命がある限り尊いものであることを実感し、日々健康に生きていらることのありがたさを学ぶことなのです。

お墓づくりで一番大切なのは、先祖を敬い、供養する気持ちです。自分たちが亡くなつたあと、安心して眠れるような、穏やかで温かい雰囲気を感じさせてくれるお墓、そして供養してくれる残された人々が、お墓参りをしたくなるような、家族の皆さんにとってしきり来るようなお墓を建てることが何よりも大切なことです。

家族への愛・絆・感謝の心、お母さんの好きだった花、そして、優しかったお父さんの思い出など、お墓にこめる想いは様々です。あなたの思いを形にかえるあなただけのお墓づくりを、墓地情報センターはお手伝いいたします。

お墓の意味・役割を学びましょう。

石塔

石塔の起源は、お釈迦様の遺骨を納めた仏塔(ストゥーパ)に由来します。石塔は亡くなられた方が仏様となつて安らかに眠る場所であり、現在では魂入れの儀式を行つて、ここにご先祖様やご本尊様をお祀りします。これでようやく、お墓に手をあわせ、ご先祖様やご本尊様へ感謝することができるのです。

お地蔵様

正しくは地蔵菩薩といい、一般に水子を救う菩薩様と思われていますが、地獄に墮ちるなどして苦しむ全ての人々をも平等に救うのです。つまりお墓にお地蔵様を設置することは、亡くなつた方があの世で苦しむことのないように、という願いの表れなのです。

外柵(がいさく)

隣接するお墓との境界をはっきりさせる目的もありますが、本来お墓はご本尊様の隣する聖地であることから、あの世とこの世を分ける「境界」としての意味があります。

灯籠

仏様に灯明を捧げることは最高の供養にあたり、灯明を捧げなくとも、灯籠を設置することで、同等の供養になります。また、お参りする人の心を清め、ご先祖様の世界を照らし、邪気を払う意味もあります。



5 散骨はすべきではない

(前略)お墓は単に遺骨を納めるためだけのものではありません。お墓というものは日常生活の中で、折に触れて訪れるべき場所なんです。亡くなつた人を偲んだり思い出したりするために行くというのももちろんですが、自分のために行っても良いんですよ。ご先祖、故人への感謝の気持ちも溢れてくるでしょうし、お願意ごとや守護のために行くのもいい。こんなことがあったよと報告することも出来るでしょう。もちろん報告をしましたからと言って墓石が揺れて何か返事があつたするわけではありません。ですが、そこを訪れたことによる安心感、達成感というものは確かに感じられるはずです。散骨をしてしまうというのは、そのような安心出来る場をなくしてしまうということなんですね。(中略)

子は親の背中を見て育つといいますが、親御さんがお仏壇やお墓に手を合わせる習慣を持つていれば、それを見ている子供はそういう行為をぐる自然に出来る人になるでしょう。散骨をしてしまうとそういう機会を持たないということになってしまいます。(後略)

…【長澤宏昌氏インタビュー小冊子「散骨は、すべきではない」より引用】



お墓参りを身近なものに…。

6 生前にお墓を建ててもいいの？

生前にお墓を建てる、死を招くようで縁起が悪いのではと考える方もいますね。でも「寿陵(じゆりょう)墓」といってこの風習、実は昔からあるものです。古くは紀元前3世紀の秦の始皇帝に始まり、日本でも聖德太子や、近年では昭和天皇も生前にお墓を建てていました。「寿陵」の風習には、生前にお墓を建てることで「一度死に、清らかになって新たに生まれ直す」といった考え方があります。これまでの罪が消え、病気が治り、健康で長生きできるという民間信仰のひとつです。また現在ではもっと現実的な目的として、自分の人生の締めくくりを好きな形や色、言葉で飾りたいと考える方、残された家族にお墓選びの面倒や金銭的な負担をかけたくないという方などが、「寿陵墓」という選択をしています。お墓には相続税がかからないというのも重要なポイント。現世の幸福のためにも、死後の心配を減らすために、いろんな点で「寿陵墓」が注目されているのです。

寿陵墓は前墓であります。お墓全体の数を超えているのです。そしてその数は、寿陵墓が増えており、地域であります。それでも、寿陵墓はここ数年で



墓誌(墓碑)

亡くなられた方の戒名や俗名、没年月日などを刻む石碑のことを墓誌といいます。お戒名を前にして故人の菩提を弔うこと、一族の歴史を振り返り後世に伝えることも、ご先祖様への大切な供養のひとつとなります。

天水受(水鉢)

天水受の「天」とは、極楽浄土を意味します。淨土から降り注ぐ清らかな水を受けて、祀られているご先祖様の喉を潤し、また供養に訪れた人々の心を洗い清めてくれます。

香炉

お香は、良い香りが隅々まで行き渡ることから、すべての人々に行き届く仏様の慈悲に例えられ、「お清め」の役割があるとされています。お線香をお供えすることは、心や体のけがれをはらい、清浄な気持ちで仏様にお参りをするためなのです。

納骨室(別名=カロート)

普段なかなか目にすることの無い納骨室(カロート)には、石塔を支える役割と、内部に棚板を設置して骨つぼを納める役割があります。また、内部には将来的に土に帰る為の「恩抜き」と呼ばれます。地域によっては、お骨をつぼに納めず袋などに入れて納骨する場合や、三十三回忌等に行われる弔いの儀式の際に骨つぼをあけて散骨など様々です。

“お墓の向き”や“墓相”…。気にした方がよいの？

「墓相」とは、お墓の形や建て方、向き、石の種類、お墓の環境などによって、家族の家運や人生の吉凶を占うというもので、中国古代からの占術の一つとされています。墓相には様々な説があり、その内容も大きく違つたりする上、仏教との因果関係もありますので、お墓の方向や形、石質などについては、特に気にする必要はありません。

「良いお墓」とは、家族の方が気持ちよくお参りできることではないでしょうか。お墓の方に墓相と比較して、お墓の方向や形、石質などについて、特に気にする必要はありません。

「良いお墓」とは、家族の方々が気持ちよくお参りできることではないでしょうか。お墓の方に墓相と比較して、お墓の方向や形、石質などについて、特に気にする必要はありません。

「良いお墓」とは、家族の方々が気持ちよくお参りできることではないでしょうか。お墓の方に墓相と比較して、お墓の方向や形、石質などについて、特に気にする必要はありません。